



「地域に見守りの輪を広げる」

都筑区社協キャラクター「ゆいピー」

R4.12.12
川和連合ふれあいたい
会長 立元 道彦

川和連合ふれあいたいボランティア各位

あつという間に1年が過ぎ、時の速さに驚くばかりです。今年はサロン、研修と3年ぶりにイベントを開くことができました。また来年も引き続きご協力をお願いいたします。
皆さん、よいお年をお迎えください！！

①各地域の連絡会・つながり♥ねっと開催状況

近々の各地域連絡会の開催は以下の通りです。川和町内会12/3、都筑ヶ丘住宅12/3、川和団地11/11、川和台11/12、都筑第二11/27、二の丸10/30です。

つながり♥ねっとに関しては、都筑第二12/11、川和団地11/13に開催し、自治会内の情報を共有しました。

◎現況(2022年度12月1日現在)は下記の通りです。

	ボランティア	利用希望者	そっと見守り
川和町	12	11	3
川和団地	11	3	0
都筑ヶ丘住宅	5	9	2
都筑が丘第二	19	24	18
川和台	7	4	0
二の丸	5	1	1
合計	59	52	24



②ボッチャクラブ立ち上げ

本年度は、川和地区社協の新規事業としてボッチャクラブを立ち上げました。カプカプ川和からラポールの優勝者が参加するなど参加者も増えつつあります。飛び入り参加もOK。これからの方は日程は以下の通りですので、奮って参加ください。

12月24日(土) 10:00～

1月28日(土) 10:00～

※以降毎月第4土曜日10:00～

③ふれあいたいボランティアサロン

11月6日に3年ぶりのサロンを開催しました。

28名のボランティア参加でした。

個人情報研修のあと、ケアプラザ山口さんによる



認知症基礎講座と続き、パナソニックエイジフリー相談員の協力で、認知症VR体験、車いすの利用体験をしました。アンケートでは様々なご意見をいただきましたので、今後に生かしていくべきだと思います。



④川和地区社協・民児協・ふれあいたい合同研修会

山梨県にある障害者就労支援の場であるケアフィットファームの見学をしました。第8波の懸念の中でしたが、31名の参加で、意見交換とともに親睦を深める有意義で楽しい研修会でした。



⑤災害時の対応について

3.11の東日本大震災の際にはその職務を果たそうと多くの民生委員が命を失いました。そのことから民生委員の災害時の対応について、まず自らの安全確保を第一優先としてその後救助にあたるとの方向性が示されました。川和連合ふれあいたいでも同様に、ご自身の安全をまず確保したうえで行動するよう徹底したいと考えています。

⑥今年も対象者へのホカロンの配布をお願いします。

※ご意見、ご要望は事務局山口、田島までご連絡ください。